

事業No	事業名	小杉丸山遺跡公園維持管理費				担当部署	部名	教育委員会
		(文化財保存費)					課名	文化・スポーツ課
172							電話	59 - 8093
事業期間		開始年度	平成 6 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化財保存費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	誰を・何を	国指定史跡「小杉丸山遺跡」公園及びガイダンス施設「飛鳥工人の館」の維持管理
	意図	どのような状態に	現状保存されている遺跡の適切な環境保全
事業内容	手段	どのような方法で	ガイダンス施設及び公園内の維持管理 窯焼きフェスティバルの実施

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名				管理形態	
	構造・階数				指定管理者名	
	建築年度		改修年度		指定管理期間	
	耐震の有無		延床面積		類似施設状況	
	設備・規模					

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度				

その他	特記事項等	富山県所管の史跡公園 国指定 1990.3.8(平成2年3月8日) 史跡公園整備完成後の平成6年から維持管理を受託している。
-----	-------	--

事業No	事業名	担当部署	部名	課名	電話
172	小杉丸山遺跡公園維持管理費 (文化財保存費)		教育委員会	文化・スポーツ課	59-8093

指標名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標	H 29 年度	
			目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 設定できる場合 (施設見学者)	人	1,802	1,803	1,804	100.1	1,802	2,020
		人						
活動指標	開館日数	日	227	227	234	103.1	234	
	小杉丸山遺跡窯焼きフェスティバル 参加者数	人	100	100	126	126.0	100	

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	4,660 千円	4,412 千円	▲ 5.3	4,412 千円
		人件費	1,088 千円	1,088 千円	0.0	1,020 千円
		退職手当引当金相当額	160 千円	160 千円	0.0	150 千円
		事業コスト計	5,908 千円	5,660 千円	▲ 4.2	5,582 千円
	財源内訳	国県支出金	4,140 千円	4,140 千円	0.0	4,140 千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	1,768 千円	1,520 千円	▲ 14.0	1,442 千円
		当該事務従事職員数	0.16 人	0.16 人	0.0	0.15 人
		利用者1人当たりコスト	3.28 千円	3.14 千円	▲ 4.3	
		うち一般財源ベース分	0.98 千円	0.84 千円	▲ 14.1	

評価項目	点数	説明
必要性	4	国指定史跡公園として整備された小杉丸山遺跡を良好な利用環境を維持し、保存継承を図る。
有効性	3	本市にある二つの国指定史跡のうちの一つ。古代の射水丘陵一帯で行われていた窯業と鉄生産の様子を垣間見ることができる唯一の施設であり希少。
達成度	3	活動指標にある「窯焼きフェスティバル」は県市が実行委員会を組織して行う唯一のイベント事業である。復元された登り窯での焼成個体数に限りがあり、参加者は定員制となっている。このため参加者数での評価はできないが、参加者の事業に対する意見は概ね良好である。
効率性	4	県の方針により入館者が減少する降雪時の冬季閉館(12～2月)を実施し、所要経費の節減に図っている。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
「窯焼きフェスティバル」事業に用いる復元された登り窯の老朽化や焼成に熟練者が必要なことなど今後の受託管理のあり方についての再検討が必要。				

事業No	事業名	串田新遺跡公園維持管理費				担当部署	部名	教育委員会
		(文化財保存費)					課名	文化・スポーツ課
173							電話	59 - 8093
事業期間		開始年度	昭和 59 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化財保存費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		文化財保護法・射水市文化財保護条例						

事業目的	対象	誰を・何を	国指定史跡串田新遺跡公園の管理
	意図	どのような状態に	現状保存されている遺跡の適切な環境保全
事業内容	手段	どのような方法で	・除草、集草、処分、防除についてはシルバー人材センターに委託

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名			管理形態	
	構造・階数			指定管理者名	
	建築年度	改修年度		指定管理期間	
	耐震の有無	延床面積		類似施設状況	
	設備・規模				

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度				

その他	特記事項等	国指定 1976年(昭和51年9月20日)
-----	-------	-----------------------

事業№	事業名	串田新遺跡公園維持管理費 (文化財保存費)	担当部署	部名	教育委員会
173				課名	文化・スポーツ課
				電話	59 - 8093

	指標名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 設定できる場合 ()	人							
	施設点検	回	52	52	50	96.2	52	52	
活動指標	草刈・集草・処分	回	5	5	4	80.0	5		
	除草剤散布	回	2	2	2	100.0	2		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	3,607 千円	3,296 千円	▲ 8.6	3,901 千円
		人件費	1,360 千円	1,360 千円	0.0	1,360 千円
		退職手当引当金相当額	200 千円	200 千円	0.0	200 千円
		事業コスト計	5,167 千円	4,856 千円	▲ 6.0	5,461 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	5,167 千円	4,856 千円	▲ 6.0	5,461 千円
		当該事務従事職員数	0.20 人	0.20 人	0.0	0.20 人
		利用者1人当たりコスト	-	-		
		うち一般財源ベース分	-	-		

評価項目	点数	説明
必要性	4	独立丘陵上に営まれた縄文時代の集落跡。北陸地方における縄文時代中期後葉の標式土器としてとり上げられ、串田新式の名で型式設定されており、学術上も重要。
有効性	3	丘陵のほぼ全体が指定地で、現状保存されているため、縄文集落と古墳時代の墳丘の立地を体感できる施設として有効である。
達成度	3	ガイダンス施設は整備されていないが、遺跡の立地や周辺の地形が見渡せる史跡公園としての機能を損なわない維持管理を実施。
効率性	4	当課と富山県文化財保護指導委員の巡視結果を参考に、効率的な除草時期などを決定し、維持管理経費の節減に努めている。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)		
今後とも頻繁に巡視を行い、適切な管理を心がけ、利用しやすい環境を維持する。		

評価結果 (2次)	
評価委員会のコメント	

事業No	事業名	放生津八幡宮築山保存補助金				担当部署	部名	教育委員
		(文化財保存費)					課名	文化・スポーツ課
174							電話	59 - 8093
事業期間		開始年度	昭和 57 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化財保護費
	実施計画掲載	無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市文化財保護条例・射水市文化財保存事業費補助金交付要綱						

事業目的	対象	交付先	放生津八幡宮文化財保存会						
	意図	補助目的	射水市内における指定文化財の保存継承を図るため						
事業内容	手段	主な活動	県指定文化財。市指定放生津の曳山まつりとの密接な関連が窺える伝統行事であるが、継承者不足が危惧される。稀少な行事を絶やさないためにも市が関わりを持ちながら指導することが重要なことから、継続的に定額な事業費補助を実施。						

補助金	類型区分	団体運営費補助		○	事業費補助	施設等整備費補助		政策的補助
		格差是正補助			利子補給	その他 ()		
	補助内容	補助区分		内容(基準単価・補助率等)				上限額
		○	定額補助					18 千円
			定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載
	その他							

施設管理運営	施設名					管理形態			
	構造・階数					指定管理者名			
	建築年度			改修年度			類似施設状況		
	耐震の有無			延床面積			民間施設状況		
	設備・規模								

施設等整備	総事業費	財源内訳 (千円)		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度		平成22年度		平成23年度		

その他	特記事項等	市指定 1967年(昭和42年9月30日 昭和57年1月18日指定解除) 県指定 1982年(昭和57年1月18日)						
-----	-------	---	--	--	--	--	--	--

事業№	事業名	放生津八幡宮築山保存補助金	担当部署	部名	教育委員
174	(文化財保存費)		課名	文化・スポーツ課	
			電話	59-8093	

成果指標	指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標		
				目標	実績	達成率			
	利用者数 設定できる場合 ()	人							
	保存会員(氏子)数	世帯数	2,929	2,929	2,892	98.7	2,892		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	18 千円	18 千円	0.0	18 千円
		(補助金交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
		人件費	136 千円	136 千円	0.0	136 千円
		退職手当引当金相当額	20 千円	20 千円	0.0	20 千円
	財源内訳	事業コスト計	174 千円	174 千円	0.0	174 千円
		国県支出金	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	174 千円	174 千円	0.0	174 千円
		当該事務従事職員数	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者1人当たりコスト		-	-		
	うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	戦国時代(天正年間)から伝承されるといわれ、県指定文化財の特に保護が必要な行事であり、後世に継承する責務を負う所有者及び管理団体への補助は妥当である。
有効性	4	補助金交付事務の遣り取りの中から継承についての問題点や現状を捉えることができる。
効率性	2	事業費に占める補助金額は少額であるが、継承に対する支援の意義は大きい。

評価結果 (1次)	B	補助率及び上限額の見直しが必要	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
県内にあっても古い民俗行事の姿を残す貴重な行事。 妥当性・有効性の観点から継続して補助することが必要であり、担い手の育成等の諸課題の解決に向けた補助金額の検討を要する				

事業No	事業名	専念寺傘松保存補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(文化財保存費)					課名	文化・スポーツ課
175							電話	59 - 8093
事業期間		開始年度	昭和 40 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化財保護費
	実施計画掲載	無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	交付先	専念寺
	意図	補助目的	射水市内における指定文化財の保存継承を図るため
事業内容	手段	主な活動	松枯れを防ぐため、防除と「傘松」の形状を維持・保存するための剪定及び支柱補強。 冬季の雪囲い

補助金	類型区分	団体運営費補助		○	事業費補助	施設等整備費補助		政策的補助
		格差是正補助			利子補給	その他()		
	補助内容	補助区分		内容(基準単価・補助率等)			上限額	
		○	定額補助				45 千円	
			定率補助				上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
	その他							

施設管理運営	施設名				管理形態	
	構造・階数				指定管理者名	
	建築年度		改修年度		指定管理期間	
	耐震の有無		延床面積		類似施設状況	
	設備・規模					

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成21年度	平成22年度	平成23年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	県指定1965年(昭和40年1月1日)指定
-----	-------	-----------------------

事業№	事業名	専念寺傘松保存補助金 (文化財保存費)	担当部署	部名	教育委員会
175				課名	文化・スポーツ課
				電話	59 - 8093

成果指標	指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標		
				目標	実績	達成率			
成果指標	利用者数 設定できる場合 ()	人							
	害虫駆除	回	5	5	5	100.0	5		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	45 千円	45 千円	0.0	45 千円
		(補助金交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
		人 件 費	136 千円	136 千円	0.0	136 千円
		退職手当引当金相当額	20 千円	20 千円	0.0	20 千円
	財源内訳	事業コスト計	201 千円	201 千円	0.0	201 千円
		国 県 支 出 金	千円	千円		千円
		そ の 他	千円	千円		千円
		一 般 財 源	201 千円	201 千円	0.0	201 千円
	当該事務従事職員数		0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者1人当たりコスト		-	-		
	うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	地域を代表する天然記念物として指定し保護対象とした県指定文化財であり、後世に継承する責務を負う所有者及び管理団体への補助は妥当である。
有効性	4	補助することにより市と一体となり文化財を守るという認識を持ちながら、保存継承へ取り組んでもらえる意義は大きい。
効率性	2	事業費の約3割程度補助を有効に活用し保存を図っている。

評価結果 (1次)	B	補助率及び上限額の見直しが必要	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
県の指定用件となっている傘状の樹冠を維持するため、継続して補助することが必要であり、今後もモニタリングを踏まえた保護措置と補助内容の検討を図る。				

事業№	事業名	串田ひいらぎ保存補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(文化財保存費)					課名	文化・スポーツ課
176							電話	59 - 8093
事業期間		開始年度	昭和 41 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化財保護費
実施計画掲載		有	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		文化財保護法・富山県文化財保護条例・射水市文化財保護条例						

事業目的	対象	交付先	所有者(個人)
	意図	補助目的	射水市内における指定文化財の保存継承を図るため
事業内容	手段	主な活動	施肥及び害虫駆除により、ひいらぎを良好に維持・保存する。また、支柱により、風雪害を防ぐ。

補助金	類型区分	団体運営費補助		○	事業費補助	施設等整備費補助		政策的補助
		格差是正補助			利子補給	その他()		
	補助内容	補助区分		内容(基準単価・補助率等)			上限額	
		○	定額補助				15 千円	
			定率補助				上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
	その他							

施設管理運営	施設名				管理形態	
	構造・階数				指定管理者名	
	建築年度		改修年度		類似施設状況	
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況	
	設備・規模					

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度				

その他	特記事項等	県指定1965年(昭和40年1月1日)
-----	-------	---------------------

事業No	事業名	串田ひいらぎ保存補助金 (文化財保存費)	担当部署	部名	教育委員会
176				課名	文化・スポーツ課
				電話	59 - 8093

指標名		単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度		
				目標	実績	達成率	目標		
成果指標	利用者数 設定できる場合 ()	人							
	施肥	回	1	1	1	100.0	1		
	害虫駆除	回	3	3	3	100.0	3		

事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
事業費・人件費	直接事業費	15 千円	15 千円	0.0	15 千円
	(補助金交付件数)	(件)	(件)		(件)
	人件費	136 千円	136 千円	0.0	136 千円
	退職手当引当金相当額	20 千円	20 千円	0.0	20 千円
	事業コスト計	171 千円	171 千円	0.0	171 千円
	国県支出金	千円	千円		千円
	その他	千円	千円		千円
	一般財源	171 千円	171 千円	0.0	171 千円
財源内訳	当該事務従事職員数	0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者1人当たりコスト	-	-		
	うち一般財源ベース分	-	-		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	県指定文化財として保護対象とされた文化財であり、後世に継承する責務を負う所有者への補助は妥当である。
有効性	4	補助を継続することにより市と一体となって文化財を守るという認識を持たれ、保存継承へ取り組んでもらえる意義は大きい。
効率性	2	所有者の不断の努力により保存が図られている。

評価結果 (1次)	B	補助率及び上限額の見直しが必要	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
樹齢400年ともいわれる老樹で、樹勢が衰えている状況にあり、その保護にはモニタリングを踏まえた保護措置が必要。 個人所有者の日々の努力が不可欠であり、継続して助成を行う。				

事業No	事業名	下村加茂神社神事伝承会補助金				担当部署	部名	教育委員会
		(文化財保存費)					課名	文化・スポーツ課
177							電話	59 - 8093
事業期間		開始年度	平成 18 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化財保護費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		文化財保護法・富山県文化財保護条例・射水市文化財保護条例						

事業目的	対象	交付先	加茂神社神事伝承会
	意図	補助目的	射水市内における指定文化財の保存継承を図るため
事業内容	手段	主な活動	国重要無形文化財「越中の稚児舞」 県指定民俗文化財「やんさんま」・「御田植祭」 市指定民俗文化財「鰯分け神事」

補助金	類型区分	団体運営費補助		○	事業費補助	施設等整備費補助		政策的補助
		格差是正補助			利子補給	その他 ()		
	補助内容	補助区分		内容 (基準単価・補助率等)				上限額
		○	定額補助	民俗文化財の保存・継承事業 (保存及び継承に要する経費のうち市長が認めるもの)				500 千円
		定率補助						
その他				上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載				

施設管理運営	施設名				管理形態	
	構造・階数				指定管理者名	
	建築年度		改修年度		指定管理期間	
	耐震の有無		延床面積		類似施設状況	
	設備・規模					

施設等整備	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度				

その他	特記事項等	国指定「越中の稚児舞」1982年(昭和57年1月14日) 県指定「やんさんま」1967年(昭和42年3月25日) 県指定「御田植祭」1994年(平成6年2月24日) 市指定民俗文化財「鰯分け神事」2005年(平成17年8月9日)
-----	-------	---

事業No	事業名	担当部署	部名	課名	電話
177	下村加茂神社神事伝承会補助金 (文化財保存費)		教育委員会	文化・スポーツ課	59 - 8093

成果指標	指標名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標		
				目標	実績	達成率			
	利用者数 設定できる場合 ()	人							
	「越中の稚児舞」の開催(公開)	回	2	1	1	100.0	1		
	「やんさんま」の開催	回	1	1	1	100.0	1		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	500 千円	500 千円	0.0	500 千円
		(補助金交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
		人件費	136 千円	136 千円	0.0	136 千円
		退職手当引当金相当額	20 千円	20 千円	0.0	20 千円
	財源内訳	事業コスト計	656 千円	656 千円	0.0	656 千円
		国県支出金	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	656 千円	656 千円	0.0	656 千円
	当該事務従事職員数		0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者1人当たりコスト		-	-		
	うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	保護対象とした文化財であり、後世に継承する責務を負う管理団体への補助は妥当である。
有効性	4	氏子の世帯数が減少が見られ、多額の経費を伴う行事を保存会だけで守り続けることは困難なことから補助金の交付による支援は有効である。また、本市の誇れる伝統行事として全国発信(PR)できる無形民俗文化財である。
効率性	4	氏子と愛馬クラブなどの協力のもとで運営され、保存継承が図られている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
行事が変容しないよう注視しながら支援を継続したい。				

事業№	事業名	下村民俗資料館				担当部署	部名	教育委員会
		(文化財保存費)					課名	文化・スポーツ課
178							電話	59 - 8093
事業期間		開始年度	昭和 63 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化財保護費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市下村民俗資料館条例						

事業目的	対象	誰を・何を	市民・ビジター
	意図	設置目的	市民の教育及び文化の発展並びに民俗文化財の保護・収納展示に寄与するため、資料館を設置する。
事業内容	手段	主な活動	学校教育及び生涯学習活動での見学施設としての利用と教材としての民具資料の貸し出し等も実施。

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名	射水市下村民俗資料館			管理形態	市直営		
	構造・階数	木造1階建て(土蔵造り)			指定管理者名			
	建築年度	年度	改修年度	昭和 63 年度	指定管理期間	年度 ~ 年度		
	耐震の有無	無	延床面積	113.40 m ²	類似施設状況	県施設	市施設	
	設備・規模	千石蔵 戸前 事務室(給湯室含む) トイレ						
	民間施設状況							

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度		平成22年度		平成23年度		

その他	特記事項等	この土蔵は、元下村三箇地区 館 哲二氏(内務次官、東京府知事、鳥取県知事、石川県知事、公選初代富山県知事、参議院議員を歴任)の所有の米蔵。 戦後の農地解放後に農協が譲り受け倉庫として使用。その後取り壊すことになったため、下村が譲り受け開村百年事業の一環として昭和63年10月に現在地に移築し、収集した民具などの資料を収蔵展示する資料館として開館した。 見学者の訪問時のみ開館対応(常駐職員配置は無い)
-----	-------	---

事業No	事業名	下村民俗資料館 (文化財保存費)	担当部署	部名	教育委員会
178				課名	文化・スポーツ課
				電話	59 - 8093

	指標名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 (見学者)	人	50	60	65	108.3	70	100	
活動指標	除草	回	1	1	1	100.0	1		
	防除	回	2	2	2	100.0	2		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	48 千円	42 千円	▲ 12.5	80 千円
		人件費	340 千円	340 千円	0.0	340 千円
		退職手当引当金相当額	50 千円	50 千円	0.0	50 千円
		減価償却費相当額	452 千円	452 千円	0.0	452 千円
		事業コスト計	890 千円	884 千円	▲ 0.7	922 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	890 千円	884 千円	▲ 0.7	922 千円
	当該事務従事職員数		0.05 人	0.05 人	0.0	0.05 人
	利用者1人当たりコスト		17.80 千円	13.60 千円	▲ 23.6	
	うち一般財源ベース分		17.80 千円	13.60 千円	▲ 23.6	

評価項目	点数	説明
必要性	4	下地区の農家で使用されていた民具資料が一括して収蔵される市唯一の展示施設。
有効性	4	学校教育及び生涯学習活動に組み込まれ利用されている。
達成度	3	現在の利用状況については近隣自治会及び学校に使用が大半を占める。
効率性	4	担当課の所在する下庁舎に隣接する施設のため、管理費の節減が図られている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
下地区の文化財や伝統行事見学などに併せた利用促進等を検討したい。				

事業№	事業名	国指定重要文化財石黒信由関係資料修理事業費				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
179							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 15 年度	終了年度	平成 24 年度	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	文化財保護費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		文化財保護法						

事業目的	対象	交付先	財団法人 高樹会
	意図	補助目的	射水市内における国重要文化財の保存継承を図るため
事業内容	手段	主な活動	著述稿本類・文書記録類の虫損、綴じの損傷修理・地図類の継ぎ目ズレの修理 ○ H15～21年度(7ヵ年継続事業)修理点数 524点(総事業費124,312千円うち市負担額7,458千円) ○ H22～24年度(3ヵ年継続事業)修理点数 2,452点(総事業費 69,000千円うち市負担額4,140千円)

補助金	類型区分	団体運営費補助		○	事業費補助	施設等整備費補助		政策的補助
		格差是正補助			利子補給	その他()		
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)				上限額	
		定額補助	国庫補助対象修理事業費の6パーセント (負担割合:国85% 県6% 市6% 高樹会3%)				千円	
		○ 定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
	その他							

施設管理運営	施設名				管理形態	
	構造・階数				指定管理者名	
	建築年度		改修年度		類似施設状況	
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況	
	設備・規模					

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度				

その他	特記事項等	(財)高樹会が所有し、博物館が寄託を受け保管展示する高樹文庫資料補修費の随伴補助金。
-----	-------	--

事業No	事業名	国指定重要文化財石黒信由関係資料修理事業費	担当部署	部名	教育委員会
179				課名	文化・スポーツ課
				電話	59 - 8093

成果指標	指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標		
				目標	実績	達成率			
成果指標	利用者数 設定できる場合 ()	人							
	資料修理数	点	64	714	714	100.0	428		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	918 千円	1,380 千円	50.3	1,380 千円
		(補助金交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
		人件費	612 千円	612 千円	0.0	612 千円
		退職手当引当金相当額	90 千円	90 千円	0.0	90 千円
	財源内訳	事業コスト計	1,620 千円	2,082 千円	28.5	2,082 千円
		国県支出金	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	1,620 千円	2,082 千円	28.5	2,082 千円
		当該事務従事職員数	0.09 人	0.09 人	0.0	0.09 人
	利用者1人当たりコスト		-	-		
	うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	国庫補助事業として実施する国指定重要文化財の保存活用を図るための修理であり、補助金の交付は妥当である。
有効性	4	修理を実施することにより一般公開が容易になり、活用の機会が増大する。また良好な保存状態を維持することができる。
効率性	4	多額の費用を要する修理事業にあって国庫補助制度を活用することで、市負担額を6%に抑えられる。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
事業完了予定の平成24年度まで補助を継続させ、保存継承を果たしたい。				

事業№		新湊博物館維持管理費				担当部署	部名	教育委員会
事業名							課名	文化・スポーツ課 新湊博物館
180						電話	83 - 0800	
事業期間		開始年度	平成 10 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち			款		教育費	
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり			項		社会教育費	
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造			目		博物館費	
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		博物館法・文化財保護法・射水市新湊博物館条例・射水市文化財保護条例						

事業目的	対象	誰を・何を	全市民及びビジター・高樹文庫資料、地域の歴史、芸術文化、生活等に関する資料
	意図	設置目的	上記資料を保管・収集・調査・研究を図りながら展示して活用することで、市民の教育及び芸術文化の向上に寄与することを目的とし、博物館法に基づき射水市新湊博物館を設置する。
事業内容	手段	主な活動	(1) 高樹文庫の資料、地域の歴史資料等の収集・保管 (2) 高樹文庫の資料、地域の歴史資料等についての調査・研究 (3) 高樹文庫の資料、地域の歴史資料等についての展示、学習情報の提供及び教育普及活動 (4) 以上に掲げるもののほか、射水市教育委員会が必要と認める事業の実施

補助金	類型区分				
	補助区分	内容(基準単価・補助率等)			上限額
	補助内容				

施設管理運営	施設名	射水市新湊博物館			管理形態	市直営			
					指定管理者名				
	構造・階数	鉄筋コンクリート造・平屋建て			指定管理期間	年度～年度			
	建築年度	平成10年度	改修年度	年度	類似施設状況	県施設		市施設	
	耐震の有無	有	延床面積	1,980.00 m ²	民間施設状況				
	設備・規模	展示室一175m ² ・展示室二256m ² ・企画展示室205m ² ・収蔵庫262m ² ・ガイダンスルーム102m ² ・ミュージアムショップ・測量庭園2,000m ² ・調査研究室・学芸員室・展示器具室・館長室・事務室・応接室・機械室、池							

施設等整備	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	平成21年度	平成22年度	平成23年度				
	整備内容						

その他	特記事項等	(1) 新湊博物館の設計は、吹上御所の設計を手がけられた建築家、故・内井蔵蔵(うちいしょうぞう)氏による。 (2) 収蔵資料の中核 3,765点の国指定重要文化財を含む、江戸時代後期の偉人「石黒信由」以下4代による和算、測量術、地図の作成、天文学、暦学に関する「高樹文庫」資料の12,000点余。 射水市出身で、重要無形文化財「鉄釉陶器」保持者(人間国宝の)陶芸分野認定第一号の陶芸家、石黒宗麿の陶芸作品・書画・その他関係資料の500点余。
-----	-------	---

事業No	事業名	担当部署	部名	課名	電話
180	新湊博物館維持管理費		教育委員会	文化・スポーツ課 新湊博物館	83 - 0800

指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標	H 26 年度	
			目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 設定できる場合 (入館者数)	人	7,678	7,800	8,910	114.2	8,910	9,000
活動指標	企画展開催回数	回	6	7	7	100.0	6	
	講演会開催数	回	7	8	8	100.0	8	

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	36,932 千円	35,942 千円	▲ 2.7	32,474 千円
		人件費	34,000 千円	34,000 千円	0.0	34,000 千円
		退職手当引当金相当額	5,000 千円	5,000 千円	0.0	5,000 千円
		減価償却費相当額	32,885 千円	32,885 千円	0.0	32,885 千円
		事業コスト計	108,817 千円	107,827 千円	▲ 0.9	104,359 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	919 千円	1,202 千円	30.8	1,500 千円
		その他	263 千円	324 千円	23.2	480 千円
		一般財源	107,635 千円	106,301 千円	▲ 1.2	102,379 千円
	当該事務従事職員数		5.00 人	5.00 人	0.0	5.00 人
	利用者1人当たりコスト		14.17 千円	12.10 千円	▲ 14.6	
	うち一般財源ベース分		14.02 千円	11.93 千円	▲ 14.9	

評価項目	点数	説明
必要性	4	国登録クラスの重要文化財をより多くの市民及び観覧者に広く触れてもらい、地域の歴史・文化を市民の誇りとしてもらうために重要な機能を持つ文化施設である。
有効性	3	全国に誇れる重要文化財を射水市民の誇りとして全国に向けて発信し、合併後の一体感を醸成するうえでもこれらの文化財をさらに有効に活用する検討と工夫が必要である。
達成度	4	平均して企画展を年間6件以上実施するなど、収蔵品及び収集・受贈した資料を有効に活用し企画展示を行った。地域からの調査依頼への対応や学習情報の提供など、日常的に多くの普及活動を行った。
効率性	4	事業のコスト削減をきめ細かに図りながら、初期の目標や水準を維持して博物館として求められる機能を遂行している。

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
古文書に親しめる講座など、博物館ならではの講座等を企画し利用促進を検討したい。				

事業No.	事業名	小杉展示館管理運営費				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
181							電話	59-8093
事業期間		開始年度	昭和 61 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名（章）	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名（節）	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	芸術文化施設費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市小杉展示館条例						

事業目的	対象	誰を・何を	市民及びビジター
	意図	設置目的	市民の教養を高め文化の発展に寄与し、美術、工芸作品等の創作発表と普及の場を提供するため、展示館を設置する。
事業内容	手段	主な活動	・地域作家展(その1～4) ・市所蔵美術作品展(その1～2) ・古きより(地域ゆかりの歴史資料等の展示)2回 ・防犯標語展 ・陶芸教室作品展 ・保育園作品展 ・絵本原画展 ・書初め展

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名	射水市小杉展示館			管理形態	指定管理		
	構造・階数	木造2階建て			指定管理者名	戸破地域振興会		
	建築年度	明治 44 年度	改修年度	昭和 61 年度	指定管理期間	平成 22 年度 ～ 平成 24 年度		
	耐震の有無	無	延床面積	331.51 m ²	類似施設状況	県施設	市施設	
	設備・規模	1階 ①企画展示室 ②小杉焼特別展示室 ③収蔵庫 ④事務所 2階 ①展示室						

施設等整備	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	整備内容	平成21年度	平成22年度		平成23年度			

その他	特記事項等	1911年(明治44年)に「小杉貯金銀行」の社屋として新築 1979年(昭和54年)まで北陸銀行小杉支店として営業。その後小杉町に譲渡 1986年(昭和61年)小杉町民展示館として改築し開館 1999年(平成11年)国の有形登録文化財(建造物)の原簿登録(県内49番目の登録)
-----	-------	---

事業No.	事業名	小杉展示館管理運営費	担当部署	部名	教育委員会
181				課名	文化・スポーツ課
				電話	59-8093

指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標	H 29 年度	
			目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 ※設定できる場合（入館者数）	人	3,724	3,798	5,488	144.5	3,874	4,363
活動指標	開館日数	日	309	308	308	100.0	309	
	企画展等開催数	回	12	12	14	116.7	14	

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	4,439 千円	5,242 千円	18.1	5,242 千円
		人件費	3,400 千円	136 千円	▲ 96.0	136 千円
		退職手当引当金相当額	500 千円	20 千円	▲ 96.0	20 千円
		減価償却費相当額	千円	千円		千円
		事業コスト計	8,339 千円	5,398 千円	▲ 35.3	5,398 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	8,339 千円	5,398 千円	▲ 35.3	5,398 千円
	当該事務従事職員数		0.50 人	0.02 人	▲ 96.0	0.02 人
	利用者1人当たりコスト		2.24 千円	0.98 千円	▲ 56.1	
	うち一般財源ベース分		2.24 千円	0.98 千円	▲ 56.1	

評価項目	点数	説明
必要性	4	保護対象として登録した建造物であり、後世に継承する責務を負う。
有効性	3	旧北陸道に面する築百年の黒漆喰り上げの土蔵造りで、旧小杉町の明治期のシンボリックな建造物内装には随所に擬洋風の装飾が施され、ギャラリーとしての利用もできる。
達成度	4	住民のニーズを把握したきめ細やかな企画展示により入館者が増加している。
効率性	4	地元の地域振興会が指定管理することにより身近な展示施設として活用頻度が増加している。

評価結果（1次）	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果（2次）	
評価結果を踏まえた今後の方針（改善内容）			評価委員会のコメント	
各種の企画展に開催についても積極的に市の所蔵品などの貸出を行い情報発信に努める。				

事業No	事業名	竹内源造記念館管理運営費				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
182							電話	59 - 8093
事業期間		開始年度	平成 14 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	芸術文化施設費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市竹内源造記念館条例						

事業目的	対象	誰を・何を	市民及びビジター
	意図	設置目的	鍔絵の技術振興に資するため、鍔絵の保存及び収集を図り文化財を長く後世に伝えとともに、市民の教養を高め文化の発展に寄与することを目的として、記念館を設置する。
事業内容	手段	主な活動	・竹内源造関連資料の収集・保管 ・鍔絵教室の実施 ・併設する埋蔵文化財展示室での資料の公開と活用

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名	竹内源造記念館			管理形態	市直営		
	構造・階数	木造・2階建て			指定管理者名			
	建築年度	昭和 9 年度	改修年度	平成 13 年度	指定管理期間	年度 ~ 年度		
	耐震の有無	無	延床面積	799.45 m ²	類似施設状況	県施設	市施設	
	設備・規模	1階 考古資料常設展示室 埋蔵文化財調査事務所 埋蔵文化財整理作業室						
		2階 竹内源造鍔絵常設展示室 竹内源造鍔絵資料室 写場 会議室 収蔵庫						

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度				

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業No	事業名	竹内源造記念館管理運営費	担当部署	部名	教育委員会
182				課名	文化・スポーツ課
				電話	59 - 8093

指標名		単位	H21年度実績	H22年度			H23年度	H 26 年度	
				目標	実績	達成率	目標	最終目標	達成率
成果指標	利用者数 設定できる場合 (入館者数)	人	1,250	1,275	1,592	124.9	1,301	1,500	
活動指標	開館日数	日	309	309	309	100.0	309		
	鰻絵教室の実施	回	1	1	1	100.0	1		

事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
事業費・人件費	直接事業費	3,547 千円	3,473 千円	▲ 2.1	3,468 千円
	人件費	3,400 千円	136 千円	▲ 96.0	136 千円
	退職手当引当金相当額	500 千円	20 千円	▲ 96.0	20 千円
	減価償却費相当額	千円	千円		千円
	事業コスト計	7,447 千円	3,629 千円	▲ 51.3	3,624 千円
	国県支出金	千円	千円		千円
	施設使用料	千円	千円		千円
	その他	千円	千円		千円
	一般財源	7,447 千円	3,629 千円	▲ 51.3	3,624 千円
	当該事務従事職員数	0.50 人	0.02 人	▲ 96.0	0.02 人
	利用者1人当たりコスト	5.96 千円	2.28 千円	▲ 61.7	
	うち一般財源ベース分	5.96 千円	2.28 千円	▲ 61.7	

評価項目	点数	説明
必要性	4	小杉左官の名工竹内源造の鰻絵作品が遺存する施設で、指定文化財の鰻絵「雲に鶴」、「恵比寿・大黒」、「波に亀」収蔵展示している。
有効性	3	旧北陸道沿いに同氏の作品が点在しており、それらの情報を発信するガイダンスルーム的な機能を有している。
達成度	4	入館者が増加傾向にある。
効率性	4	職員を兼務させることにより、経費の節減を図っている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
次年度の途中から25年度まで復元改修のため、閉館を予定している。				

事業No.	事業名	記念館復元改築等実施設計 (竹内源造記念館管理運営費)				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
183							電話	59-8093
事業期間		開始年度	平成 22 年度	終了年度	平成 26 年度	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	芸術文化施設費
実施計画掲載		有	17 頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		都市再生特別措置法 社会資本整備総合交付金交付要綱						

事業目的	対象	誰を・何を	射水市竹内源造記念館復元改築事業
	意図	どのような状態に	老朽化している記念館(旧小杉町役場)を建築当初に復元改修し、同館に遺存する小杉左官の名工竹内源造の鍔絵をはじめとする鍔絵情報の発信スペースを構築する。
事業内容	手段	どのような方法で	社会資本整備総合交付金の制度の既存建造物活用事業に位置づけて次のとおり計画。 ・建築当初の様式に復元改修(耐震改修含む) ・交流スペースの新築 ・鍔絵「双龍」の移設

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名			管理形態	
	構造・階数			指定管理者名	
	建築年度		改修年度	類似施設状況	
	耐震の有無		延床面積	民間施設状況	
	設備・規模				

施設等整備	総事業費	139,000 千円	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				55,600		78,800		4,600
	整備内容	平成21年度	平成22年度		平成23年度			
			記念館図面作成及び耐震診断業務委託		記念館復元改修工事実施設計業務委託			

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業No.	事業名	記念館復元改築等実施設計 （竹内源造記念館管理運営費）	担当部署	部名	教育委員会
183				課名	文化・スポーツ課
				電話	59-8093

指標名	単位	H21年度 実績	H22年度			H23年度 目標		
			目標	実績	達成率			
活動指標	復元改修事業進捗状況	千円	0	3,000	2,940	98.0	9,000	

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	千円	2,940 千円	皆増	9,000 千円
		人件費	千円	1,360 千円	皆増	1,360 千円
		退職手当引当金相当額	千円	200 千円	皆増	200 千円
		事業コスト計	千円	4,500 千円	皆増	10,560 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	千円	4,500 千円	皆増	10,560 千円
		当該事務従事職員数	人	0.20 人	皆増	0.20 人
		利用者1人当たりコスト	—	—		
		うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	図面作成と耐震診断の実施により、改修プランが作成できた。
有効性	4	図面作成と耐震診断時の建物調査により、建築当初建築の様相を確認できた
達成度	4	図面作成と耐震診断業務で改修プランの決定に至った
効率性	3	3種の改修プランを比較でき、効率的な選定ができた

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
歴史的建造物の専門家の意見を参考にしながら事業を進める。				

事業No	事業名	陶房「匠の里」管理運営費				担当部署	部名	教育委員会
184							課名	文化・スポーツ課
							電話	59 - 8093
事業期間	開始年度	平成 2 年度	終了年度	-		予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	芸術文化施設費
	実施計画掲載	有	17 頁	個別計画	リニューアル(H28～29)			
根拠法令・要綱等		射水市陶房「匠の里」条例						

事業目的	対象	誰を・何を	一般及び施設利用者
	意図	設置目的	貴重な伝統文化を継承し、手作り文化活動の振興及び有意義な余暇の活用を通して、心のふれあいと豊かな生活の創造を図るため
事業内容	手段	主な活動	・初心者向け半日陶芸教室、絵付け体験、電動ろくろ体験(随時) ・初歩の陶芸 (こぶしコース 週1回 3ヶ月間) ・陶芸の絵付け (絵付コース 月2回 3ヶ月間) ・初歩～中級の陶芸 (Mコース 週1回 6ヶ月間) ・週末の夜間の陶芸 (夜間コース 週1回 6ヶ月間) ・本格的な陶芸 (Bコース 週2回 6ヶ月間) ・上級者向け作陶 (Cコース 毎日 6ヶ月間) ・企画教室

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名	陶房「匠の里」			管理形態	指定管理		
	構造・階数	木造・一部2階建て			指定管理者名	射水市文化振興財団		
	建築年度	平成元年度	改修年度	平成 年度	指定管理期間	平成 21 年度 ～ 平成 23 年度		
	耐震の有無	有	延床面積	1,190.59 m ²	類似施設状況	県施設	市施設	2
	設備・規模	陶芸工房棟 窯室棟 宿泊研修棟 穴窯棟 粘土工芸センター 展示棟						

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度	平成22年度		平成23年度			

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業No	事業名	担当部署	部名	課名	電話
184	陶房「匠の里」管理運営費		教育委員会	文化・スポーツ課	59-8093

	指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 (利用者数)	人	13,427	13,696	13,406	97.9	13,969	15,732	
活動指標	開館日数	人	291	291	289	99.3	291		
	焼き物まつり	回	1	1	1	100.0	1		
	郷土陶芸作家展の開催	回	18	18	17	94.4	16		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	9,459 千円	5,440 千円	▲ 42.5	4,690 千円
		人件費	136 千円	136 千円	0.0	136 千円
		退職手当引当金相当額	20 千円	20 千円	0.0	20 千円
		減価償却費相当額	7,198 千円	7,198 千円	0.0	7,198 千円
		事業コスト計	16,813 千円	12,794 千円	▲ 23.9	12,044 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	16,813 千円	12,794 千円	▲ 23.9	12,044 千円
	当該事務従事職員数		0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者1人当たりコスト		1.25 千円	0.95 千円	▲ 23.8	
	うち一般財源ベース分		1.25 千円	0.95 千円	▲ 23.8	

評価項目	点数	説明
必要性	4	本市唯一の本格的な陶芸体験施設
有効性	4	団塊の世代や高齢者などの余暇利用施設として利用者の増加が見込める施設である
達成度	3	企画教室利用者の減少数をコース利用者の増加でカバーできなかった
効率性	4	指定管理による施設のため担当課の事務量については変化は見られなかった。

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
指定管理者に利用者数増加のためのPRや営業活動などを検討を促したい				

事業№		新湊中央文化会館管理運営費				担当部署	部名	教育委員会
事業名							課名	文化・スポーツ課
185							電話	59 - 8093
事業期間		開始年度	平成 2 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	芸術文化施設費
	実施計画掲載	有	頁	個別計画	リニューアル(H19～21)実施			
根拠法令・要綱等		射水市新湊中央文化会館条例						

事業目的	対象	誰を・何を	一般及び施設使用者					
	意図	設置目的	市民の芸術文化の振興及び福祉の増進を図るため、文化会館を設置する。					
事業内容	手段	主な活動	・芸術文化事業の企画及び実施 12公演(Jポップス2、クラシック1、洋舞1、ファミリー1、サイエンス1、落語1、音楽劇1、吹奏楽1、合唱2、美術展1)					

補助金	類型区分							
		補助区分	内容(基準単価・補助率等)					上限額
	補助内容							

施設管理運営	施設名	新湊中央文化会館			管 理 形 態	指定管理			
					指定管理者名	射水市文化振興財団			
	構 造・階 数	鉄骨・鉄筋コンクリート 3階建て			指定管理期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度			
	建 築 年 度	昭和 56 年度	改 修 年 度	平成 21 年度	類似施設状況	県 施 設		市 施 設	1
	耐震の有無	有	延 床 面 積	11,960.91 m ²	民間施設状況				
	設 備・規 模	大ホール(1220席) 小ホール(392席) 市民ホール(330m ²) 展示室(312m ²) 練習室1(洋室 54m ²) 練習室2(和室24畳) 練習室3(洋室106m ²)							

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成21年度	平成22年度			平成23年度		
	整備内容							

その他	特記事項等	中央公民館・新湊図書館・美術品収蔵室併設 市指定避難所(収容想定人員5700人)						
-----	-------	---	--	--	--	--	--	--

事業No	事業名	担当部署	部名	課名	電話
185	新湊中央文化会館管理運営費		教育委員会	文化・スポーツ課	59-8093

	指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 設定できる場合 (利用者数)	人	57,570	58,721	60,556	103.1	59,896	67,452	
活動指標	開館日数	日	347	347	347	100.0	348		
	芸術文化事業の企画及び実施	回	11	12	12	100.0	12		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	313,180 千円	70,751 千円	▲ 77.4	68,528 千円
		人件費	136 千円	136 千円	0.0	136 千円
		退職手当引当金相当額	20 千円	20 千円	0.0	20 千円
		減価償却費相当額	57,972 千円	57,972 千円	0.0	57,972 千円
		事業コスト計	371,308 千円	128,879 千円	▲ 65.3	126,656 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	千円	千円		千円
		その他	212,141 千円	2,371 千円	▲ 98.9	2,371 千円
		一般財源	159,167 千円	126,508 千円	▲ 20.5	124,285 千円
	当該事務従事職員数		0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者1人当たりコスト		6.45 千円	2.13 千円	▲ 67.0	
	うち一般財源ベース分		2.76 千円	2.09 千円	▲ 24.4	

評価項目	点数	説明
必要性	4	市内で1200人以上を収容できる唯一の施設として必要
有効性	3	舞台が広いため、舞踊・歌舞伎などの公演も可能
達成度	3	改修時に落ち込んだ利用者数を徐々に回復してきている
効率性	4	指定管理による施設のため担当課の事務量については変化は見られない

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
指定管理者に類似施設との棲み分けを図り、館の特徴を生かした事業展開を図るよう工夫を促す				

事業No	事業名	小杉文化ホール管理運営費				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
186							電話	59 - 8093
事業期間		開始年度	平成 2 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	芸術文化施設費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市小杉文化ホール条例						

事業目的	対象	誰を・何を	一般及び施設利用者
	意図	設置目的	市民の芸術文化の振興及び福祉の増進を図るため、文化ホールを設置する。
事業内容	手段	主な活動	・芸術文化事業の企画及び実施 10公演(琴・ヴァイオリン1、Jポップス1、クラシック2、合唱1、落語1、声楽1、童謡1、雅楽・ヴァイオリン1、ファミリー1)

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名	小杉文化ホール			管理形態	指定管理		
	構造・階数	鉄筋コンクリート 3階建て			指定管理者名	射水市文化振興財団		
	建築年度	平成 5 年度	改修年度	平成 年度	指定管理期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度		
	耐震の有無	有	延床面積	5,714.00 m ²	類似施設状況	県施設	市施設	1
	設備・規模	ひびきホール(大ホール818席) まどかホール(小ホール 240席) アトリウム 研修室1(洋室140m ²) 研修室2(洋室80m ²) 研修室(和洋室24畳) 練習室1(バンド機材 30m ²) 練習室2(ピアノ 30m ²)						

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成21年度	平成22年度	平成23年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	市指定避難施設(収容想定人員2800人)
-----	-------	----------------------

事業No	事業名	小杉文化ホール管理運営費	担当部署	部名	教育委員会
186				課名	文化・スポーツ課
				電話	59 - 8093

	指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 設定できる場合 (利用者数)	人	100,013	102,013	99,479	97.5	101,468	117,181	
活動指標	開館日数	日	305	307	307	100.0	309		
	芸術文化事業の企画及び実施	回	11	10	10	100.0	9		

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	75,860 千円	72,413 千円	▲ 4.5	72,423 千円
		人件費	136 千円	136 千円	0.0	136 千円
		退職手当引当金相当額	20 千円	20 千円	0.0	20 千円
		減価償却費相当額	85,000 千円	85,000 千円	0.0	85,000 千円
		事業コスト計	161,016 千円	157,569 千円	▲ 2.1	157,579 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	千円	千円		千円
		その他	2,152 千円	2,413 千円	12.1	2,413 千円
		一般財源	158,864 千円	155,156 千円	▲ 2.3	155,166 千円
	当該事務従事職員数		0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者1人当たりコスト		1.61 千円	1.58 千円	▲ 1.6	
	うち一般財源ベース分		1.59 千円	1.56 千円	▲ 1.8	

評価項目	点数	説明
必要性	4	好立地の施設なため、800人程度までの事業内容実施に最適
有効性	3	周囲に市庁舎等の駐車場もあり利便性が高い。
達成度	3	企画事業開催数減少が利用者数に反映され、前年度を下回る結果となった
効率性	4	指定管理による施設のため担当課の事務量については変化は見られなかった

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
指定管理者に利用者減少の要因とその対策について検討を促す				

事業No	事業名	大門総合会館管理運営費				担当部署	部名	教育委員会
		187					課名	文化・スポーツ課
						予算科目	電話	59 - 8093
事業期間		開始年度	昭和 62 年度	終了年度	-		会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	芸術文化施設費
	実施計画掲載	無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市大門総合会館条例						

事業目的	対象	誰を・何を	市民他施設利用者
	意図	設置目的	市民の福祉及び芸術文化の振興を図るため、総合会館を設置する。
事業内容	手段	主な活動	大ホールを使用する地域の文化振興に寄与する公演等事業 3事業(クラシック2、お笑い1)

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名	別紙「施設明細」参照			管理形態			
	構造・階数				指定管理者名			
	建築年度	年度	改修年度	年度	指定管理期間	年度 ~ 年度		
	耐震の有無		延床面積	m ²	類似施設状況	県施設	市施設	
	設備・規模							

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成21年度	平成22年度	平成23年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	併設施設 1階 新湊信用金庫大門支店 北陸銀行大門支店 正力・小林記念館 ふれあいロビー(喫茶) 2階 射水市民国際交流協会 射水市商工会館大門支所 3階 正力図書館 市指定避難施設(収容想定人員700人)
-----	-------	---

事業No	事業名	事業名	担当部署	部名	教育委員会
187		大門総合会館管理運営費		課名	文化・スポーツ課
				電話	59 - 8093

指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標	H 29 年度	
			目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 設定できる場合 (利用者数(総合会館 + 記念館))	人	75,292	76,787	60,965	79.4	78,695	88,565
活動指標	開館日数	日	347	347	347	100.0	348	
	開催事業	回	4	3	3	100.0	2	

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	38,250 千円	33,792 千円	▲ 11.7	34,700 千円
		人件費	136 千円	136 千円	0.0	136 千円
		退職手当引当金相当額	20 千円	20 千円	0.0	20 千円
		減価償却費相当額	43,719 千円	43,719 千円	0.0	43,719 千円
		事業コスト計	82,125 千円	77,667 千円	▲ 5.4	78,575 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	4,767 千円	4,757 千円	▲ 0.2	4,756 千円
		その他	1,123 千円	94 千円	▲ 91.6	147 千円
		一般財源	76,235 千円	72,816 千円	▲ 4.5	73,672 千円
	当該事務従事職員数		0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者1人当たりコスト		1.09 千円	1.27 千円	16.8	
	うち一般財源ベース分		1.01 千円	1.19 千円	18.0	

評価項目	点数	説明
必要性	4	市民の福祉という目的には合致し、多目的な施設を有することから各種団体等が利用しやすい
有効性	3	設置目的のひとつである芸術文化の振興については市内に類似施設があることから薄らいできている。
達成度	3	自主事業の開催数減少により集客数が減少した。
効率性	4	指定管理の施設であるため担当課の事務量に変化はなかった

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
自主事業の実施のあり方を検討していく。				

事業No	事業名	担当部署	部名	課名	電話
187	大門総合会館管理運営費		教育委員会	文化・スポーツ課	59-8093

1	施設名	管理形態	指定管理
	大門総合会館	指定管理者名	(財)射水市文化振興財団
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート 地上6階 地下1階建て	指定管理期間	平成 21 年度 ~ 平成 23 年度
建築年度	昭和 62 年度	改修年度	年度
耐震の有無		延床面積	6,144.10 m ²
設備・規模	大ホール342席 こぶしホール304m ² 貸し会議室及び研修室9室(洋室7 和室2 計678m ² 定員340名) 展示室104m ² 聴覚室70m ² 軽運動室147m ² 茶道室5.8畳 料理実習室78m ²	類似施設状況	県施設 市施設

指標名		単位	H21年度実績	H22年度			H23年度	H 29 年度	
				目標	実績	達成率	目標	最終目標	達成率
成果	利用者数 設定できる場合 (利用者数)	人	74,736	76,231	60,063	78.8	77,775	87,565	
活動	開館日数	日	347	347	347	100.0	348		

事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
事業費・人件費	事業コスト				
	直接事業費				
	人件費				
	退職手当引当金相当額				
	減価償却費相当額				
	事業コスト計				
	財源内訳				
	国県支出金				
	施設使用料				
	その他				
一般財源					
当該事務従事職員数					
利用者1人当たりコスト					

2	施設名	管理形態	指定管理
	正力・小林記念館 (大門総合会館内)	指定管理者名	(財)射水市文化振興財団
構造・階数		指定管理期間	平成 21 年度 ~ 平成 23 年度
建築年度	昭和 62 年度	改修年度	年度
耐震の有無	有	延床面積	122.00 m ²
設備・規模	小林與三次・正力松太郎	民間施設状況	

指標名		単位	H21年度実績	H22年度			H23年度	H 29 年度	
				目標	実績	達成率	目標	最終目標	達成率
成果	利用者数 設定できる場合 (利用者数)	人	556	556	902	162.2	920	1000	
活動	開館日数	日	347	347	347	100.0	348		

事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
事業費・人件費	事業コスト				
	直接事業費				
	人件費				
	退職手当引当金相当額				
	減価償却費相当額				
	事業コスト計				
	財源内訳				
	国県支出金				
	施設使用料				
	その他				
一般財源					
当該事務従事職員数					
利用者1人当たりコスト					

事業№	事業名	大島絵本館管理運営費				担当部署	部名	教育委員会
							課名	文化・スポーツ課
188							電話	59 - 8093
事業期間		開始年度	平成 6 年度	終了年度	-	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 2 部 だれもがいきいきと輝くまち					款	教育費
	政策名(章)	第 2 章 だれもがきらめくまちづくり					項	社会教育費
	施策名(節)	第 2 節 芸術・文化の継承と創造					目	芸術文化施設費
実施計画掲載		無	頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市大島絵本館条例						

事業目的	対象	誰を・何を	施設利用者
	意図	設置目的	市民の絵本文化を中心とした芸術文化の振興を図ることを目的として、絵本館を設置する。
事業内容	手段	主な活動	絵本文化推進事業の企画及び運営 ・イベント事業(おおしま絵本のつどい 11企画) ・企画展示事業(原画展6、カフェギャラリー展22、パフォーマンスホール展示16) ・創作教室事業(10教室) ・ワークショップ(24企画、CGワークショップ等)

補助金	類型区分			
	補助内容	補助区分	内容(基準単価・補助率等)	上限額

施設管理運営	施設名	大島絵本館			管理形態	指定管理		
	構造・階数	鉄筋コンクリート 地上2階 地下1階建て			指定管理者名	(財)射水市絵本文化振興財団		
	建築年度	平成 6 年度	改修年度	平成 年度	指定管理期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度		
	耐震の有無	有	延床面積	2,405.75 m ²	類似施設状況	県施設	市施設	
	設備・規模	地下1階(シアター200席 パフォーマンスホール) 1階 (インフォメーション ライブラリー ギャラリー カフェ ショップ) 2階(ワークショップ CGワークショップ ラウンジ ミーティングルーム)						

施設等整備	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成21年度	平成22年度		平成23年度			

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業No	事業名	大島絵本館管理運営費	担当部署	部名	教育委員会
188				課名	文化・スポーツ課
				電話	59 - 8093

指標名	単位	H21年度実績	H22年度			H23年度目標	H 29 年度	
			目標	実績	達成率		最終目標	達成率
成果指標	利用者数 (利用者数)	人	37,631	38,384	43,290	112.8	39,151	44,091
活動指標	開館日数	日	292	292	292	100.0	293	
	絵本コンクール応募点数	点	1,267	1,267	1,520	120.0	1,520	

事業費・人件費	事業費		平成21年度決算	平成22年度決算	伸率	平成23年度予算
	事業コスト	直接事業費	83,395 千円	74,777 千円	▲ 10.3	74,796 千円
		人件費	136 千円	136 千円	0.0	136 千円
		退職手当引当金相当額	20 千円	20 千円	0.0	20 千円
		減価償却費相当額	32,743 千円	32,743 千円	0.0	32,743 千円
		事業コスト計	116,294 千円	107,676 千円	▲ 7.4	107,695 千円
	財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
		施設使用料	千円	千円		千円
		その他	1 千円	2 千円	100.0	2 千円
		一般財源	116,293 千円	107,674 千円	▲ 7.4	107,693 千円
	当該事務従事職員数		0.02 人	0.02 人	0.0	0.02 人
	利用者1人当たりコスト		3.09 千円	2.49 千円	▲ 19.5	
	うち一般財源ベース分		3.09 千円	2.49 千円	▲ 19.5	

評価項目	点数	説明
必要性	4	県内の代表的な絵本に関する様々な楽しみを体験できる施設
有効性	3	周囲の環境もよく幅広い年代層で利用可能。特に子育て世代へのアピール度は高い
達成度	4	入館者及び絵本コンクール応募ともに前年実績を上回る数を確保している
効率性	4	指定管理の施設であるため担当課の事務量に変化はなかった

評価結果 (1次)	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
現行どおりきめ細かい諸展示等を継続しつつ、利用者のニーズにあった事業展開を図る				